

環境調査結果のお知らせ

令和3年5月20日午前に野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が19.2～21.1℃、塩分が29.2～34.3、溶存酸素量が6.5～8.4mg/Lでした。
湾内の透明度は4.6～5.2mで、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は19.2～21.1℃、塩分は29.2～34.3でした。
前回調査時(R3.4.8)と比較して、水温は全層で0.5～2.3℃上昇し、塩分は全層で0.3～3.7低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.5～8.4mg/Lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層及び底層で0.2～0.6mg/L低下し、10m層で0.4mg/L増加しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は4.6～5.2mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

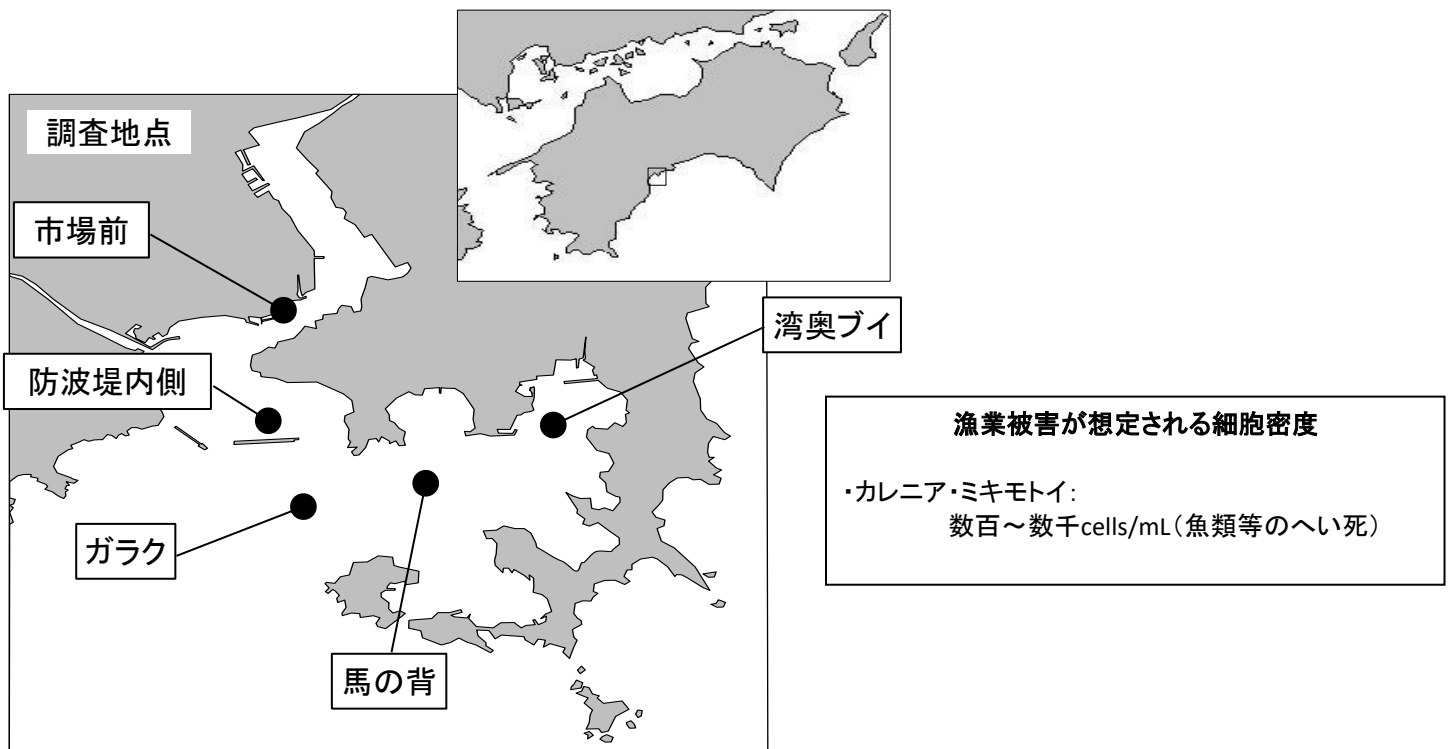


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.4.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	21.0	20.9	20.6	20.8	18.5	2.3	19.4	19.6
2m	21.1	20.6	20.4	20.7	18.4	2.3	20.5	20.2
5m	20.4	20.2	20.0	20.2	18.4	1.8	20.0	20.2
10m	20.0	19.8	19.6	19.8	18.5	1.3	19.7	19.6
B-1m	19.2	19.2	19.3	19.2	18.7	0.5	19.3	19.4

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.4.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	30.5	29.2	29.8	29.8	33.5	▲ 3.7	11.2	13.5
2m	31.4	31.3	32.2	31.7	33.6	▲ 1.9	30.8	31.2
5m	32.6	32.9	33.0	32.9	33.7	▲ 0.8	32.7	32.5
10m	33.4	33.5	33.9	33.6	34.2	▲ 0.6	33.5	33.6
B-1m	34.2	34.2	34.3	34.2	34.5	▲ 0.3	34.1	33.8

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.4.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.2	7.7	7.8	7.9	8.5	▲ 0.6	8.8	8.5
2m	8.4	7.7	7.8	8.0	8.4	▲ 0.4	8.6	7.9
5m	7.9	7.9	7.4	7.7	8.0	▲ 0.3	7.9	7.7
10m	7.3	7.2	7.5	7.3	6.9	0.4	7.2	7.1
B-1m	6.5	7.2	7.4	7.0	7.2	▲ 0.2	7.2	7.0

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.7	23.8	17.1	16.3	13.4
透明度	4.6	5.2	5.1	3.4	3.2
前回(4/8)	3.5	4.5	5.5	3.5	3.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモトイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	200
	2m	0	240
	5m	1	140
馬の背	0m	0	320
	2m	0	120
	5m	0	200
ガラク	0m	0	180
	2m	0	160
	5m	0	100
津波防波堤内側	0m	0	60
	2m	0	180
	5m	1	220
市場前	0m	0	20
	2m	0	180
	5m	0	260